

# ナナカマド

## 四季の観察ポイント

春

5～7月に  
小さく白い花が穂咲きする



夏

黄緑の実が  
鈴なりに実る



秋

美しい紅葉  
実も紅く色づく



実を食べにくる  
ヒグマ



バラ科  
ナナカマド属  
樹高 10～15m

冬

冬芽は  
べとべと  
している



実は熟しきつた  
後にウソや  
レンジャク等  
野鳥が食べに  
やってくる



幹は淡褐色で  
楕円形の皮目あり  
成木になると暗灰色  
で浅くさける

ナナカマドは北海道の森林の中で普通にみられる木です。春に穂咲きになる白い花や、秋に真っ赤に色づく葉、冬に雪をかぶっても残る赤い実が美しいことから、庭や公園、街路樹としても親しまれています。  
ナナカマドの実には保存料（ソルビン酸）と微量な毒成分（アミグダリン）が含まれているため、冬の間も腐ることなく枝に残ります。この毒は寒さで実が凍ると分解されるため、寒さが厳しくなって初めて野鳥たちは実を食べるようになります。

## リン子の絵日記

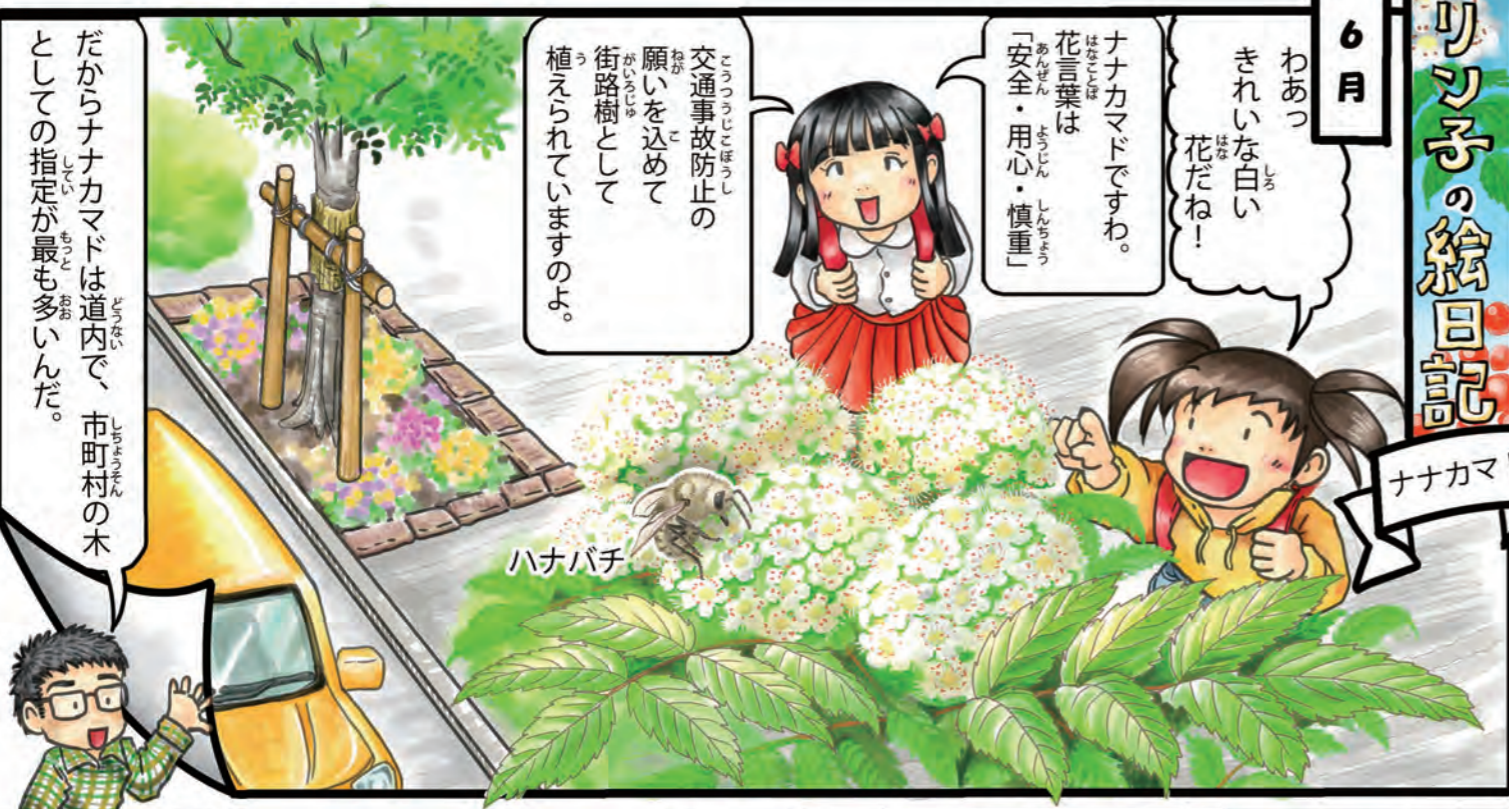
6月

わあっ  
きれいな白い  
花だね！

ナナカマドですわ。  
花言葉は  
「安全・用心・慎重」

交通事故防止の  
願いを込めて  
街路樹として  
植えられていますよ。

だからナナカマドは道内で、  
市町村の木  
としての指定が最も多いんだ。



ナナカマド

12月

真っ赤な実が  
真っ白な雪を  
かぶっているよ。

ナナカマドの実には  
保存料や毒成分が入っているから、  
腐らず食べられないんだって。

2月  
あ、レンジャク  
うさぎささぶつ  
実が凍ると  
毒がなくなる  
んだって。

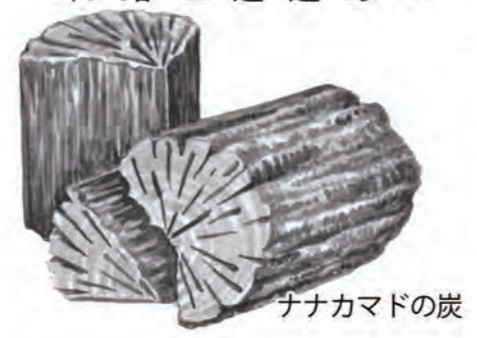
ヒレンジャク  
だから寒くなると  
野鳥が食べに  
来るんだ。  
鳥たちはよく  
知ってるね！



## ナナカマドのくさくさい匂い

「七回かまどに入れても燃えないからナナカマド」とよく言われますが、実際は燃えにくいわけではありません。材が固く、木目が緻密であることから、家具材の他、じつくりと炭化させることで極上の堅炭（堅い炭）となります。

花言葉が「安全・用心・慎重」であることから、交通安全への願いを込めて、道内あちこちの市町村で街路樹として植えられています。



## アイヌ民族とナナカマド

アイヌ語ではアペニ（火の木）、カムマニ（肉を焼く木）等の他、エソノウワミズサクラと一緒にキキンニ（危険を追い払う木）と呼んだりします。

この木の独特なにおいは、病気を遠ざける力があるとされ、実や樹皮を薬用に用いました。

また材は器具材として使用したり、魔人を退ける木幣を作ったりしました。